



交通安全教室

2024.10.29

上文殊駐在所のおまわりさんが来園され、3、4、5歳児は交通安全のお話を聞き、4、5歳は実際に信号機の見方を確認した後、横断歩道を渡る様子を見て頂きました。咄嗟の判断にまだまだ戸惑う姿が見られたので、散歩などを通して身につけていけるようにしていきます。

<横断歩道の渡り方の話を聞きました>



<前後左右を確認しよう>



<手をしっかりあげよう>



- 道路を渡る際は横断歩道を使用する
 - 信号がある場合は、歩行者信号をよく見て渡る（青信号も、点滅している時は渡らない）
 - 横断歩道を渡る時は手をあげてから車が来ないか「前後」「左右」を十分確認し渡る（手をあげるにより車が子どもの存在に気付くため）
 - 車が止まってくれないこともあるので、横断歩道から少しずつ前に出ることはせず、止まったことを確認してから渡る
 - 車が子どもの存在に気付けないこともあるので、横断歩道は子どもだけで渡らず、お家の人と一緒に渡る
 - 傘をさして渡る際には、姿が見えにくいので傘から顔を出して横断歩道に立つ
- 以上のことについておまわりさんとお約束しました
保護者の皆様もお子さんにお声かけ頂き、習慣づくようお願いいたします

